

建築基準法第12条第3項に基づく防火設備の定期検査報告書受付に伴うチェックリスト

【チェック項目一覧】

施設名			報告者または検査者氏名					
書類名、箇所等			確認事項			報告者 <input checked="" type="checkbox"/>	大津市 <input checked="" type="checkbox"/>	
提出書類			正本1部、副本1部、概要書1部					
			委任状(任意様式) ※代理者が提出等の諸手続きを行う場合					
報告書	第1面	3-イ	所在地	地番で記入 ※地番が不明の場合は住居表示でも可。その場合は末尾に「(住居表示)」と記入				
		4	指摘の内容	「(口既存不適格)」欄は、指摘内容が <b>全て</b> 既存不適格の場合にチェック <input checked="" type="checkbox"/>				
	第2面	3-イ	今回の検査	報告日の <b>3箇月以内</b> を確認				
		3-ロ	前回の検査	前回報告日(=提出日)を記入				
		4-イ	検査者	最新の資格登録番号、氏名と検査資格者証との整合 ※建築士以外の検査者には、防火設備検査員の資格が必要 ※検査者電話番号に加え、FAX番号を記載				
		6	検査の状況	<b>全ての</b> 要是正項目について、「指摘の概要」「改善予定の有無」を記入 「(口既存不適格)」欄は、指摘内容が <b>全て</b> 既存不適格の場合にチェック <input checked="" type="checkbox"/>				
		7	不具合等	「有」の場合は、第3面に不具合等の状況を記入				
概要書			報告書の記載内容と整合確認 1面4 指摘の概要には、指摘事項を <b>全て</b> 記入					
検査結果表		添付資料		報告書 第二面5-ロ に記載がある全ての防火設備について検査結果表を添付				
		記名等		検査者全員を記入。検査者が複数名いる場合は検査者番号も記入必要				
		検査項目		対象外の検査項目欄は、空欄を斜線で抹消				
		既存不適格		該当する項目は、「要是正」欄との <b>両方に○印</b> を記入				
		特記事項		検査結果が要是正及び既存不適格の項目は、全て「特記事項」欄に内容を記入				
検査結果図 (別添1様式)		全般		原則A3サイズで、鮮明なもの 方位および縮尺を記入				
		平面図等		要是正箇所(既存不適格部含む)には、検査結果表の特記事項番号とその内容を <b>全て</b> 図示				
関係写真 (別添2様式)		写真		既存不適格以外の要是正箇所(指摘のある箇所)の状況がわかる写真を全て添付。(検査結果表の指摘番号も記入) 検査結果欄 「口要是正」・「口その他」どちらかにチェック <input checked="" type="checkbox"/>				
検査資格者であることの証明書の写し			資格番号、氏名等は、鮮明なもの					
付近見取図		地図全般		縮尺1/2,500程度で、周辺目標物を含む <b>現在の</b> 地図を利用のこと 方位および縮尺を記入				
		報告地		報告地を着色等により明示				
配置図		全般		方位および縮尺を記入。別添1様式と兼ねることは可				
		報告敷地		敷地境界線を着色等で明示				
		報告建物		建物が複数棟ある場合は、報告対象を着色等で明確に表示				
平面図等		全般		図面は原則A3。数値、室名(室用途)等が鮮明なもの 別添1様式と兼ねることも可				
				既存不適格部を含む <b>全ての</b> 指摘を明示				
				要是正箇所には検査結果表の指摘番号を記入				
				縮尺、方位 間取り及び各室の用途(室名等) ※ <b>建築確認後の間取り変更、用途変更の現況を反映したもの</b>				
				検査対象である防火設備の位置、種類(防火設備、特定防火設備の区分) 並びに感知器の位置および種類(感知区域、連動区域及び連動制御盤の位置。感知器連動、温度ヒューズ式の区分。)				
その他				防火区画、防火壁の明示(赤色)				